

令和5年度 野生鳥獣による農作物被害の状況について

1 被害額

令和5年度 77,639千円
(対前年比90%, 8,954千円の減)

2 獣種別被害額の状況

- (1) ニホンジカ：42,732千円（対前年比119%, 6,825千円の増）
中山間地域の果樹（スダチ、ユズ、ミカン等）の被害額が63%を占めた
- (2) イノシシ：14,422千円（対前年比53%, 12,990千円の減）
山際の水稲、タケノコの被害額が54%を占めた
- (3) ニホンザル：14,379千円（対前年比96%, 633千円の減）
中山間地域の果樹（スダチ、ユズ、カキ等）に加え、平坦地の野菜（ナス、トマト等）に被害
- (4) そ の 他： 6,106千円（対前年比83%, 1,179千円の減）
平坦地を中心に、カラスによるニンジン、カモによるレンコン、ハクビシンによるトマト等に被害

3 今年度の対策

- (1) 防除対策
- ・国の交付金を活用し、集落一体となった追い払いや侵入防止柵・ネットの整備等による防除の強化
- (2) 捕獲対策
- ・国の交付金を活用し、継続的な有害鳥獣捕獲や個体数管理の推進
 - ・新たに、高密度地域での餌付け誘因によるくくりわなを用いたシカの集中捕獲を実施
- (3) Webサイト「徳島鳥獣対策マップ」の運用開始（7月）
- ・県民が登録した鳥獣の出没・被害情報を、市町村や猟友会など関係団体が共有・活用することで効果的な捕獲・防除を推進
- (4) ジビエの消費拡大
- ・新たに、流通担当者や飲食店等を対象とした阿波地美栄体験ツアーの開催
 - ・学校給食でのジビエ利用拡大の推進

【参考】令和5年度 3獣種の捕獲数（速報値）

	合 計	20,949頭 (R4：27,862頭, 対前年比75%)
内訳：ニホンジカ	16,886頭 (R4：18,162頭, 対前年比93%)	
イノシシ	3,132頭 (R4：8,112頭, 対前年比39%)	
ニホンザル	931頭 (R4：1,588頭, 対前年比59%)	